

災害時トイレ衛生管理講習会【計画編】

－防災トイレ計画の作成方法を実践的に学ぶ－

プログラム

開催趣旨

安心できるトイレ空間、清潔なトイレ環境が維持されていなければ、トイレとしての役目を十分果たすことができません。トイレが怖い、汚い、使い勝手が悪いと、トイレに行くことを避け、飲食を控えるため健康を害し、脱水症状、慢性疾患の悪化、エコノミー症候群等で命を落とすリスクを負うことになります。不衛生なトイレは、感染症の温床になるため、個々人の健康だけでなく集団や地域への健康リスクも高まることになります。

災害時は被災状況に応じた対応方法を検討し、段階的にトイレ整備を行っていく必要があります。そのためには、住宅、避難所、病院、事務所、公共交通拠点等、さまざまな拠点や地域における設備や備蓄状況を正しく把握し、それらを有効活用するための「防災トイレ計画」を作成することが必要になります。本講習会は防災トイレ計画の作成方法を学んでいただきます。

講習会のポイント

拠点ごとの災害時トイレ対策として「防災トイレ計画」の作成方法を身につける。

- ◇ 適切な災害用トイレの選定方法
- ◇ 災害時のトイレ初動対応から時間経過に伴う段階的改善方法
- ◇ 災害時のトイレ環境の衛生確保方法
- ◇ 災害時のトイレに関する要配慮者対応方法
- ◇ 関係機関等との交渉・調整方法

「防災トイレアドバイザー」認定証交付！

災害時トイレ衛生管理講習会【基礎編（2日間）】および【計画編（2日間）】を受講し、かつ防災トイレ計画を作成し、当研究所に提出（専門家による審査有）された方に、「防災トイレアドバイザー」認定証を交付いたします。

なお、次回の【基礎編】は2020年5月頃に開催する予定です。

開催概要

開催日	2019年12月14日(土)～15日(日)
会場	ビジョンセンター浜松町 地下1階M室 〒105-0013 東京都港区浜松町 2-8-14 浜松町 TS ビル
主催	特定非営利活動法人日本トイレ研究所
後援(予定)	内閣府政策統括官(防災担当)、文部科学省、厚生労働省、国土交通省、環境省関東地方環境事務所
参加費	20,000円(テキスト代含む)
申込先 (問合せ先)	特定非営利活動法人日本トイレ研究所 〒105-0004 東京都港区新橋 5-5-1 IMC ビル新橋 9F TEL: 03-6809-1308 FAX: 03-6809-1412 URL: http://www.toilet.or.jp

プログラム【1日目】

9:30 (受付開始)

10:00 開講あいさつ

10:10 **講義1** 「防災トイレ計画」作成の意義と目的

上 幸雄 (特定非営利活動法人日本トイレ研究所)

- (1)なぜ、作るのか / (2)だれを対象に作るのか / (3)どこを対象に作るのか /
- (4)どんな状況を想定して作るか / (5)どのように活用するのか
- (6)防災トイレ計画の構成

10:50 **講義2** 「防災トイレ計画(D-TOP)」作成の基本事項

加藤 篤 (特定非営利活動法人日本トイレ研究所)

- (1)建物と給排水・し尿処理のつながり / (2)災害時のトイレ初動対応の考え方 /
- (3)トイレ必要数の算定 / (4)トイレ配置と環境整備

11:40 **事例1** 西日本豪雨・熊本地震・東日本大震災等でのトイレ事情

加藤 篤 (特定非営利活動法人日本トイレ研究所)

12:00 昼食

13:10 **講義3** 災害用トイレの選び方および使用方法

松本 彰人 (特定非営利活動法人日本トイレ研究所)

- (1) 災害用トイレの種類と特徴 / (2) 時間経過を考慮した災害用トイレの選び方 /
- (3) 災害用トイレの使用手法

14:30 休憩

14:40 **講義4** 災害時のトイレ環境の衛生基準と評価手法

中瀬 克己 (吉備国際大学 保健医療福祉学部 教授)

- (1) 災害時のトイレに求められる衛生基準
- (2) 災害時のトイレ衛生状況の評価手法

15:30 休憩

15:40 **事例2** 災害時の学校トイレ運用方法を事例から学ぶ

加藤 篤 (特定非営利活動法人日本トイレ研究所)

16:20 質疑と意見交換

16:50 終了 (終了後、交流会)

プログラム 【2日目】

9:00 (受付開始)

9:30 **講義5** 災害時の要配慮者対応

小原 真理子 (清泉女学院大学 文化教育研究所 看護学部新設準備委員 特任教授)

- (1) 要配慮者のトイレ利用実態と健康リスク
- (2) 要配慮者の状況に応じたトイレ対応

10:20 休憩

10:30 **事例3** 防災トイレ計画 (案) づくり

田中 仁 (防災トイレアドバイザー)

11:00 休憩

11:10 **講義6** 災害時のトイレ環境づくりのための交渉・調整実務

～新潟県中越大地震におけるトイレ対策の事例から～

米田 和広 (新潟県県民生活・環境部参事 環境企画課長)

- (1) 支援する側と支援される側が考える快適なトイレとは
- (2) トイレ環境改善のための外部交渉と調整

12:00 昼食

13:10 **実務演習** 防災トイレ計画 (D-TOP) 作成ワークショップ

日本トイレ研究所

15:50 修了証書交付

16:00 閉講

※プログラムは一部変更する場合がありますのでご了承ください。

■問合先

特定非営利活動法人日本トイレ研究所

〒105-0004 東京都港区新橋 5-5-1 IMC ビル新橋 9F

TEL. 03-6809-1308 FAX. 03-6809-1412 URL <http://www.toilet.or.jp>

■特定非営利活動法人日本トイレ研究所とは

特定非営利活動法人日本トイレ研究所は、「トイレ」をとおして社会をより良い方向へ変えていくことをコンセプトに活動しているNPO (特定非営利活動法人) です。災害時のトイレの分野では、阪神・淡路大震災以降、災害時のトイレ問題に着手してきました。

講師プロフィール



米田 和広 よねだかずひろ

(新潟県県民生活・環境部参事 環境企画課長)

2004年の新潟県中越地震発生時には県の廃棄物対策課に在職、県災害対策本部においてトイレ対策に奔走した。2006年には、災害の教訓を踏まえたトイレ対策計画案を作成し、「新潟県地域防災計画」の修正に関わった。



中瀬 克己 なかせかつみ

(吉備国際大学 保健医療福祉学部 教授)

前・岡山市保健所長。阪神淡路大震災時に神戸市中央区保健所に勤務していたことを契機に自然災害など健康危機管理に取り組んできた。東日本大震災では、岡山市から仙台市への派遣第1陣として保健福祉センター支援、避難所支援に従事した。



小原 真理子 おはらまりこ

(清泉女学院大学 文化教育研究所 看護学部新設準備委員 特任教授)

災害看護学教授として、学部・修士課程・博士課程の教育に従事。同大学フロンティアセンター災害看護部門に開設されている武蔵野地域防災活動ネットワーク(COSMOS)の代表を務め、武蔵野市の行政、本学、住民組織の官学民一体で地域防災活動に10年間取り組んできた。

会場地図

ビジョンセンター浜松町

【住所】〒105-0013 東京都港区浜松町 2-8-14 浜松町 TS ビル地下1階M室

【最寄り駅からのアクセス】

■JR 山手線・京浜東北線

「浜松町駅」南口 徒歩3分

■東京モノレール羽田空港線

「モノレール浜松町」駅 南口 徒歩3分

■都営大江戸線・浅草線

「大門駅」A1出口 徒歩5分

